

図表2 性年代別 現在の職種から別の職種へのキャリアチェンジの可能性について。(回答は1つ) n=4000

	別の希望職種があり、キャリアチェンジしたい	どうしてもというほどではないが、チャンスがあればキャリアチェンジしてみたい	職種には特にこだわりはないため、条件や待遇が良ければ、キャリアチェンジしてみたい	キャリアチェンジは希望していないが、今の職種で働けなくなったらするしかない	今の職種が好き、自分に合っているため、できれば今の職種のままで働きたい	その他
全体平均	10.0%	29.1%	17.5%	18.4%	23.7%	1.4%
20代男性	23.0%	55.7%	4.9%	4.9%	11.5%	—
30代男性	15.3%	31.1%	18.2%	17.2%	16.3%	1.9%
40代男性	12.1%	30.9%	16.6%	16.8%	22.0%	1.6%
50代男性	10.6%	27.6%	17.1%	20.6%	22.6%	1.5%
20代女性	14.7%	28.4%	25.2%	12.9%	17.3%	1.4%
30代女性	13.4%	28.0%	18.2%	16.5%	23.1%	0.8%
40代女性	8.1%	29.4%	16.3%	18.8%	26.1%	1.3%
50代女性	4.0%	27.3%	17.3%	21.8%	28.0%	1.6%

※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

派遣スタッフの10人に1人が キャリアチェンジに「積極的」

インセンティブや働きかけ次第では、50代でも「前向き」

本誌が年に2回実施している派遣スタッフに対するアンケート調査では、「キャリア」という言葉、イメージの魅力度についての質問もしている。

直近(2023年9月実施)の調査結果で、「キャリア」という言葉、イメージに「魅力を感じる」と回答した人は21・8%。一方の「魅力を感じない」と回答した人は29・9%であり、「どちらともいえない」の48・4%と併せて、お世辞にも「キャリア」という言葉に対する「感度は高い」とは言えないだろう。

派遣スタッフのキャリアアップを後押しする計画的な教育訓練の実施、いわゆる「派遣スタッフのキャリア形成支援」が義務化されたのは、労働者派遣法の2015年改正であるから、そろそろ9年が経過しようとしている。

来年、「派遣スタッフのキャリア形成支援の義務化から10年」という節目を迎えるに足しては、冒頭の数字はいささか頼りない印象も

「キャリアパスとしての派遣」の可視化

についての認識が乏しいと思われる層が一定数存在していることが、アンケートで収集した派遣スタッフのコメントからはうかがえたことである。

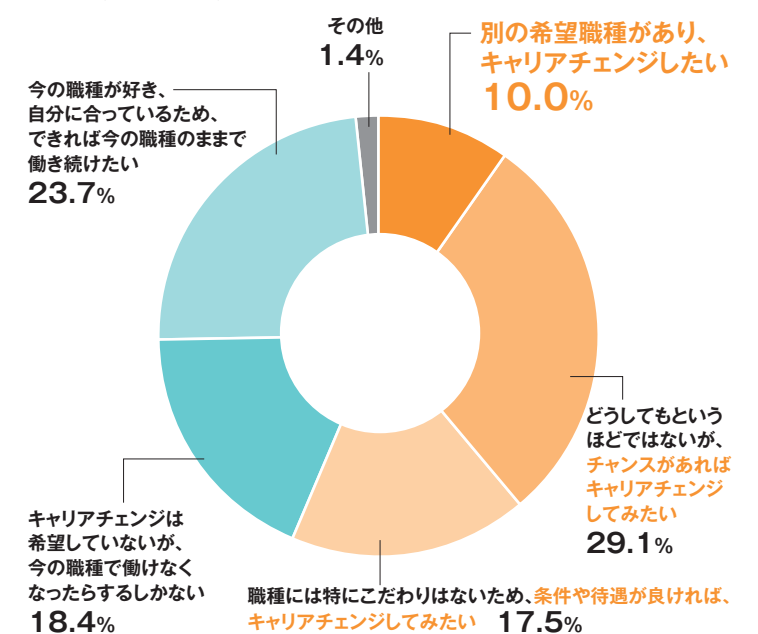
例えば「結局、派遣はキャリアを積める仕事ではないから」(41歳女性・愛知・大手派遣・事務)、「派遣でキャリアを積むくらいなら正社員になりたい」(48歳女性・東京・大手派遣・事務)、「派遣で仕事を積んでもキャリアにはならない」(55歳女性・千葉・大手派遣・その他)などのコメントからは、少なくとも「キャリアパスとしての派遣」という働き方への期待はうかがえない。

しかし、キャリアチェンジへの可能性、チャンスという観点から見れば、本来、人材派遣会社の派遣スタッフという立場は、キャリアチェンジに向けた労働環境には比較的恵まれているはずである。本人の志向や意欲、あるいは派遣会社の理念・経営方針にはよるものの、多種多様の求人が集まり、その就労に向けた教育・研修サポートもある派遣会社であれば、むしろ派遣スタッフという働き方は多様なキャリア形成に向けた選

抱かざるを得ないが、本誌はさらに突っ込んだ質問として、前回(2023年9月調査)において「自身のキャリアチェンジ」についても聞いている。

先の質問からもうかがえるように「キャリアに淡泊」な人たちの

図表1 現在の職種から別の職種へのキャリアチェンジの可能性について。(回答は1つ) n=4000



※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

多い派遣スタッフに対して、あえて「キャリアチェンジについてどう思うか?」という質問を投げかけてみたいと思ったのには、もちろん、それなりの理由もあった。一番大きかった理由は、「キャリアパスとしての派遣」の働き方

択肢に恵まれた環境になり得る。今回の特集を企画した狙いの一つには、派遣スタッフの間ではあまり浸透しているとは思えない「キャリアパスとしての派遣」の可能性をより可視化する前段階として、まずは現状における「派遣スタッフのキャリアチェンジ」に対してどの程度の意識にあるのかを推し量りたい、というものがあつた。

キャリア形成により意欲的、かつダイナミックに取り組みたい人ほど「派遣という働き方を積極的に選ぶ」という世界観は、現状では理想であり、人によつては絵空事と一蹴されるかもしれないが、本誌なりのその可能性に近づくためのエビデンスを、断片的かつ大雑把である点はお許しいただきたいが、「派遣スタッフのキャリアチェンジ」という論点から以下で紹介していきたいと思う。

過半数は「キャリアチェンジの可能性」に肯定的

図表1は4000人の派遣スタッフに「現在の職種から別の職種